

アオサギ観察会

2003年5月21日

コロニーが最も賑わう時期です。さて、今日はどんなヒナたちに出会えるでしょうか。

ずんぐりした体に羽毛の逆立った頭。印象的な風貌でこちらを見ているのは、生まれて数日のヒナたちです。しかし、自信ありげな顔つきとは裏腹に、この頃のヒナはまだ自分の脚でしっかり立つこともできず、親のお腹の下にうずくまって多くの時間を過ごします。ふ化後5日目、体重は約100gになります。

この写真は東京のとある葦原にできた巣を写したものです。どういう訳か、近頃このような地上営巣が増えているようです。



撮影 加藤七枝



撮影 Mick Marquiss

ふ化後2週間。ようやくヒナに羽が生え始めます。自分の脚で立って羽をパタパタし始めるのもこの頃です。巣に吐き戻された餌をついばんでいたヒナたちも、この頃には親のくちばしから直接餌を貰うようになります。

この時期、ヒナの成長は目覚ましく、親の餌採りも日を追って忙しくなります。

ふ化して4週間。羽も生え揃い、見かけもアオサギらしくなってきます。ヒナもこのくらいになると、巣の近くの枝を攀じ登ったり、枝伝いに遠くまで出かけたりするようになります。けれども、自立するのはまだまだ先で、飛べるようになるには2週間、自分で餌がとれるようになるにはさらに4週間が必要です。

そして8月ともなれば、森から幼鳥たちの姿も消え、森はアオサギたちへの役目を終えることとなります。



撮影 Mick Marquiss